

※下線：更新箇所

第9期地球観測推進部会の当面の進め方(案)

令和3年 10 月 15 日

1. 第9期における議論案について

- ・「今後10年の我が国の地球観測の実施方針のフォローアップ報告書」(令和2年8月地球観測推進部会)において、SDGs への貢献として、SDGs の各評価指標やポスト SDGs に向けた目標設定に関して、地球観測データの利活用の推進が示されている。また、科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)においては、改めて「STI for SDGs」活動の国際展開等の促進を通じた科学技術外交の戦略的な展開を図ることとされている。
- ・現在の SDGs の評価指標については、我が国では、JAXAの衛星データに基づく解析情報が一部の評価指標に活用されつつあるが、地球観測データに基づく評価指標の設定は限定的であり、今後の SDGs の検証等において、観測データの一層の活用が期待される。
- ・このような状況を踏まえ、総務省等関係省庁とも連携し、地球観測・予測データやデータの利活用を促進するデータプラットフォームによる SDGs・ポスト SDGs や気候変動予測研究への貢献等について深掘りした議論を行い、まとめていく。
- ・なお、本議論においては、今年度に予定されている、気候変動枠組条約 COP26 と生物多様性条約 COP15 における成果や、また、仙台防災枠組 2015-2030 への貢献も考慮していく。

2. 議論の進め方(案)

(1) 論点

- ・SDGs 達成に向けた動向について
- ・地球観測データによる貢献が期待される取組は何か、将来のポスト SDGs への貢献として期待されるものは何か。
- ・今後取り組むべきこと、さらに強化すべきことは何か。



これまでの議論を踏まえ、論点を具体化

- ・ 地球観測・予測データによる貢献が期待される取組と課題
- ・ 地球観測データと社会経済データとの組合せによる貢献が期待される取組と課題
- ・ データプラットフォームの必要性・方向性
- ・ 地球観測・予測データの利活用に向けた取組と課題

※下線：更新箇所

(2)スケジュール

○第1回(令和3年6月10日):

- ・SDGsに関する現状(蟹江委員及び総務省からの御説明)

○第2回(令和3年9月3日):

- ・SDGs等へ貢献可能な取組についてのヒアリング①
実施機関等による取組状況、関連動向等について報告・意見交換

○第3回(令和3年10月15日):

- ・SDGs等へ貢献可能な取組についてのヒアリング②
実施機関等による取組状況、関連動向等について報告・意見交換

○第4回(令和3年12月頃)

- ・SDGs等へ貢献可能な取組についてのヒアリング③
実施機関等による取組状況、関連動向等について報告・意見交換
- ・「地球観測・予測データの活用によるSDGs等への貢献」(仮称)(案)について議論

○第5回(令和4年2月頃)

- ・「地球観測・予測データの活用によるSDGs等への貢献」(仮称)(案)について議論